



【資料2】

令和4年11月11日

令和4年度第4回入間市廃棄物減量等推進審議会

# 令和4年度 第4回 入間市廃棄物減量等推進審議会 資料

令和4年11月11日  
入間市 環境経済部  
エコ・クリーン政策課



SDGs未来都市 入間市  
Well-being City いるま  
～健康と幸せを実感できる未来共創都市～



# ① 前回資料の修正



## 目的（修正）

- ・ ごみの減量
- ・ 資源化率の向上
- ・ 収集従事者の働き方改革
- ・ 運搬車両の稼働台数減によるCO<sub>2</sub>の削減

## 変更点

収集日程の変更

## 周知方法

実施前 1 年かけ地元説明会を実施し手厚く説明するとともに、資源化についても説明する。

## 目標

- ・ 家庭ごみの排出量の削減  
令和 1 7 年度 1 人 1 日 438 g
- ・ 資源化率の向上  
令和 1 7 年度 27.4%

	令和 3 年度	令和 1 7 年度
家庭ごみの排出量	537g/人/日 (資源含まず)	438g/人/日 (資源含まず)
資源化率	22.8%	27.4%

※令和 1 7 年度のデータは、入間市一般廃棄物処理基本計画より

## ② 前回会議の整理



意見	回答
① 土曜日に収集をなくすということは、焼却炉も止めるということか。（栗山委員）	▶ 焼却炉の稼働日数は、収集回数ではなく、ごみの処理量により決めており、現状では引き続き土曜日も稼働する必要があります。
② ・入間市の収集運搬業は、土曜日・祝日も勤務で天候がどのような状態でも収集作業を行うため、人材の確保が困難である。 ・回数の見直しは、コスト削減ではなく働き手の環境改善を考えて欲しい。（近藤委員）	▶ 収集回数見直しの「目的」を修正し、「収集従事者の働き方改革」を追加しました。
③ 野菜ジュースなどのアルミ付きパックは回収している店舗がいくつかある。市でも回収しているスーパーを紹介してはどうか。（栗山委員）	▶ どの店舗で回収しているかを把握し、HPなどで紹介していきます。
④ ごみ袋の有料化は他の市町村でもやっているようですが、検討しないのか。（村野委員）	▶ 今後、有料化について審議会においても検討していただきたい。

# ③ごみ種別ごとの収集回数の見直し（案）



ごみ種別	現状の収集回数 (年間)	処理量 (現状) R3実績	処理量 (組成分析調査の結果に基づき、正しく分別した場合)	差異	今後の減量 結果	変更(案)後 (年間)
可燃ごみ	週3回 (154日)	24,455.88 t	21,129.88 t	▲3,326 t	↓	週2回(102日)
不燃ごみ	月4回 (52日)	1,791.80 t	1,546.32 t	▲245.48 t	↓	月2回(24日)
プラスチック・ビニール類	週1回 (52日)	2,435.37 t	2,949.86 t	514.49 t	↑	週1回(52日)
古布・紙類	月2回 (24日)	2,250.73 t	5,307.72 t	3,056.99 t	↑	月4回(48日)
ビン、缶、ペットボトル、有害ごみ	月2回 (24日)	1,718.46 t	同左	—	—	月2回(24日)

## 組成分析調査の結果

(可燃ごみ)

- ・ 資源化可能な紙類が12.5%含まれていた。
- ・ ビニール、プラスチックが1.1%含まれていた。

(不燃ごみ)

- ・ 資源化可能なビニール、プラスチックが13.7%含まれていた。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	可燃ごみ	古布・紙類	ビニール・プラスチック資源	可燃ごみ	不燃ごみ	—
7	8	9	10	11	12	13
	可燃ごみ	古布・紙類	ビニール・プラスチック資源	可燃ごみ	ビン・缶・ペットボトル・有害ごみ	—
14	15	16	17	18	19	20
	可燃ごみ	古布・紙類	ビニール・プラスチック資源	可燃ごみ	不燃ごみ	—
21	22	23	24	25	26	27
	可燃ごみ	古布・紙類	ビニール・プラスチック資源	可燃ごみ	ビン・缶・ペットボトル・有害ごみ	—
28	29	30	31			
	可燃ごみ	—	ビニール・プラスチック資源			